

USER'S MANUAL

MINIBRUTE SE

ANALOG SYNTHESIZER

MiniBrute SE CONNECTION

ソフトウェア・エディター

1.0.3

2014年5月版



本マニュアルに記載されている情報は、予告なしに変更されることがあり、そのことについて ARTURIA は責任を負いません。ハードウェアユニットと本マニュアルに記載されているソフトウェアは、ライセンス契約、またはノンディスクロージャリー(非開示)契約の条件下で提供されています。ライセンス契約は、合法的な使用法を契約条件に指定します。本マニュアルのいかなる部分も ARTURIA SA の明確な書面による許諾なく、購入者の個人使用以外の目的以外でいかなる形式でも生産、転載することはできません。本マニュアル内に記載されているその他の商品、ロゴ、会社名は、各社の商標、または登録商標です。

© ARTURIA S.A. 1999-2014, all rights reserved.

ARTURIA S.A.
30, Chemin du Vieux Chêne
38240 Meylan
FRANCE
<http://www.arturia.com>

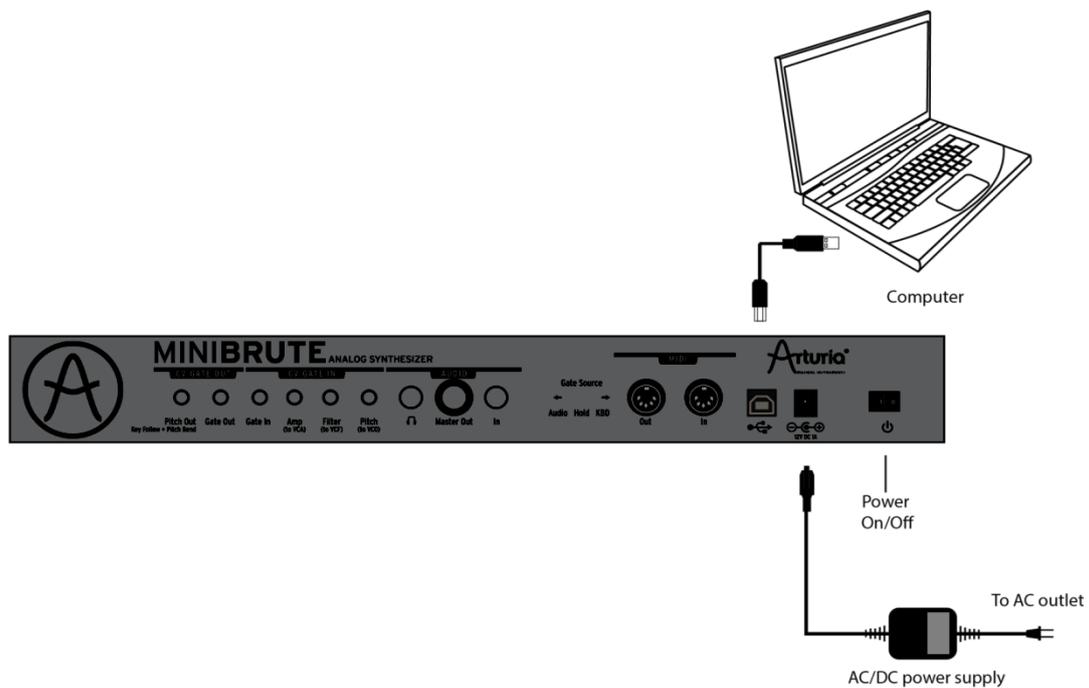
もくじ

1	インストール	3
1.1	ハードウェア	3
1.2	ソフトウェア	3
2	全体のコンフィグレーション	5
3.1	キーボード・パラメーター	5
3.1.1	Audio Gate Threshold — オーディオゲート・スレッショルド	6
3.1.2	LFO Key Retrigger — LFO キートリガー	6
3.2	Sequencer Control — シーケンサーのコントロール	6
3.2.1	Play	6
3.2.2	Next Seq.	6
3.2.3	Sync	7
3.2.4	Step	7
3.3	MIDI チャンネル・セレクト	7
3.3.1	Transmit Channel — 送信チャンネル	8
3.3.2	Receive Channel — 受信チャンネル	8
3.4	モジュール・パラメーター	8
3.4.1	Note Priority — ノートの優先順位	8
3.4.2	Envelope Legato Mode — エンベロープレグアト・モード	8
3.4.3	Velocity Response — ベロシティ・レスポンス	9
3.4.4	Aftertouch Response — アフタータッチ・レスポンス	9
4	ファームウェアのアップデート	10
4.1	ファームウェア・バージョンの確認	10
4.2	アップデートのチェック	10
4.3	ファームウェアのアップデート	10
4.4	トラブルシューティング	11
4.4.1	接続を確立できません。	11
4.4.2	アップデートが中断されました。	11
5	シーケンス	12
5.1	Reset All Sequences — すべてのシーケンスをリセット	12
5.2	Load Sequences — シーケンスのロード	12
5.3	Save Sequences — シーケンスの保存	12
5.4	.mbseq ファイル	13
6	MIDI CC からパラメーターを変更する	14
7	ご使用条件	Error! Bookmark not defined.
7.1	No liability for consequential damages	15
7.2	FCC Information (USA)	15
7.3	Canada	16
7.4	Europe	16

1 インストール

1.1 ハードウェア

付属の USB ケーブルを使用して MiniBrute とコンピューターを接続し、その後電源を入れてください。



1.2 ソフトウェア

MiniBrute Connection ソフトウェア・エディターは、Arturia のウェブサイトから無料で手に入れることができます。

<http://www.arturia.com/evolution/en/products/MiniBruteSE/resources.html>

上記 URL よりダウンロードしアーカイブを解凍し適当なフォルダに保存してください。詳細な手順はお使いのコンピューターのオペレーティングシステムによって異なります。

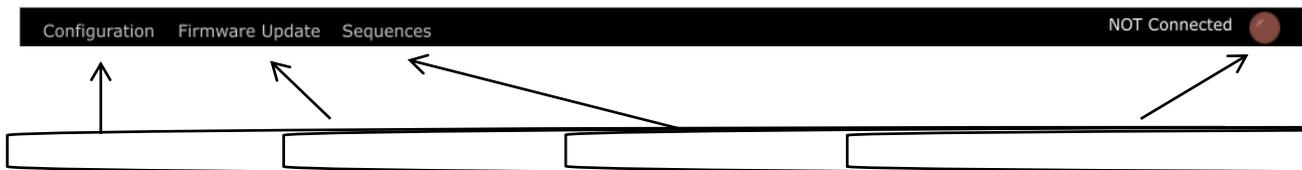
- Mac OS X は、“OSX”と表記します。
- Windows は、“Win” と表記します。

本ソフトウェアは、システム上のいかなる場所にもインストールを必要がなく、解凍したフォルダから直接起動することができます。もしアプリケーションを移動させる場合、常に“MBF”ファームウェア・ファイルを伴っていることを確認してください。

MiniBrute Connection ソフトウェア・エディターは、2つの主な機能を提供します。それは以下のページで説明されます。:

- 楽器全体のコンフィグレーション(第2章を参照してください。)
- 楽器のファームウェア・アップデート(第3章を参照してください。)

ツールバーを介して主な機能を切替えることができます。:



🔑 ソフトウェアの初回起動時に、シンセサイザー上の古いファームウェアのバージョンを検出し、アップデートすることをお勧めすることがあります。この場合、ファームウェアアップデート・プロセスを実行されることを強くお勧めします。これは、第3章で説明する自動的に起動するのと同じプロセスです。

2 全体のコンフィグレーション



3 立ち上げた時点で、ソフトウェアが自動的に MiniBrute SE に保存された設定をロードします。

 パラメーターを変更すると、その設定は自動的にシンセサイザーに送られ、そのメモリーに保存されます。セーブ、再起動の必要は無く、設定はすぐに反映されます。



3.1 キーボード・パラメーター

3.1.1 Audio Gate Threshold— オーディオゲート・スレッショルド

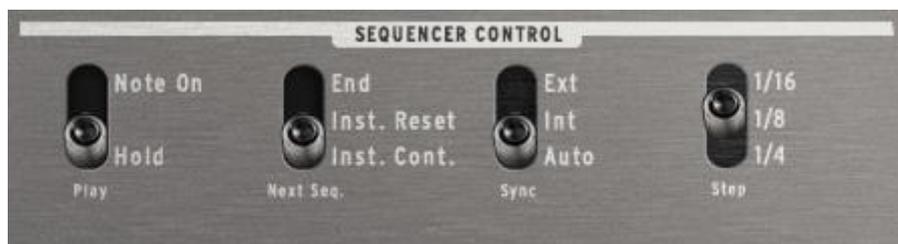
このセクションでは、エンベロープをトリガーするオーディオレベル、すなわち“オーディオゲート・スレッショルド”を選択することができます。一般的なオーディオレベルに基づき、3つのレベル(Low、Medium、High)から選択することができます。トグルスイッチをクリックすることで必要なレベルを選択します。

3.1.2 LFO Key Retrigger — LFO キートリガー

LFO のトリガー・モードを以下の2つから設定します。

- On: LFO は、キーが押されるたびにリスタートします。
- Off: LFO は、キーの状態に関係なく自由に動作します。

3.2 SEQUENCER CONTROL — シーケンサーのコントロール



3.2.1 Play

シーケンサーは、2種類の演奏モードを使用することができます。;

ノートオン(Note On)モードとホールド(HOLD)モード

- Note On モードは鍵盤を弾くと同時にプレーを開始します。
- Hold モードは、プレー・モードがフロントパネル上のスイッチで“PLAY”に設定されている場合、すぐにシーケンサーの再生を開始します。

3.2.2 Next Seq.

Next Sequence 機能は、シーケンスが次にどのように変化していくか決定します。オプションは、“Instant”、または“End of Seq.”です。

- End- 次のシーケンスに移る前に現在のシーケンスを最後の音まで再生します。
- Instant Reset - シーケンスをすぐに変更し、最初の音にシーケンスをリセットします。
- Instant Continuous - 次のシーケンスの次のステップに進みます。seq 1 をプレーしている時に、パターン・ノブで seq 2 にスイッチし次の写真に見られるように次のノートクロックからパターン2を始めます。

Pattern 1

Pattern 2

Pattern knob is changed here

Resultant notes that will be played at output

Pattern 1 notes

2

3.2.3 Sync — シンク

外部クロックに接続した時に Minibrute SE がどのように反応するかを決定します。

- **Int** - Internal(内部)に設定すると、シーケンサーは、テンポ・ノブで設定したテンポで再生します。
- **Ext** -External(外部)に設定すると、外部の MIDI クロックが Minibrute SE に送られるときにのみシーケンサーは再生されます。
- **Auto** -Auto(オート)に設定すると、外部 MIDI クロックを受信するとそれに従い、何も信号を受け取らない場合は、テンポ・ノブの値に従った速さで再生します。

3.2.4 Step — ステップ

シーケンサーを再生する分解能を決定します。使用可能な値は、1/16、1/8、1/4の3種類です。

3.3 MIDI チャンネル・セレクト



このセクションでは、独立して MIDI 入出力を設定することができます。

3.3.1 Transmit Channel — 送信チャンネル

楽器に MIDI メッセージを送信する MIDI 送信チャンネルを設定します。

MiniBrute SE が外部デバイスをコントロールする場合、このパラメーターを使用します。
使用できるチャンネルは 1 ~ 16 です。

ツマミを回転させて適切な MIDI チャンネルを選択してください。; 望ましい値になるまでステップを増やしてください。

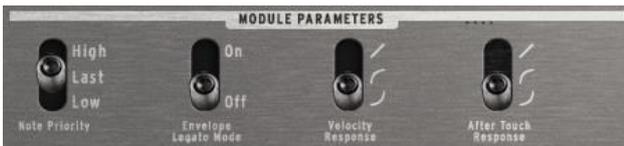
3.3.2 Receive Channel — 受信チャンネル

楽器に MIDI メッセージを受信する MIDI 受信チャンネルを設定します。

MiniBrute SE が外部デバイスをコントロールする場合、このパラメーターを使用します。
使用できるチャンネルは 1 ~ 16 です。それと“All”を選択するとすべてのチャンネルを受信します。

ツマミを回転させて適切な MIDI チャンネルを選択してください。; 望ましい値になるまでステップを増やしてください。

3.4 モジュール・パラメーター



LFO トリガー、エンベロープのレガート・モードやアルペジエーター・ノートのソート順のような様々なモジュール・パラメーターを設定します。

3.4.1 Note Priority — ノートの優先順位

複数の鍵盤が押された時のプレー・モードを設定します。:

- **High:** 最高音をプレーします。
- **Last:** 最後に演奏した音をプレーします。
- **Low:** 最低音をプレーします。

3.4.2 Envelope Legato Mode — エンベロープレガート・モード

レガート・モードのオン、オフを設定します。

- **On:** 前の音を発音中に新しく異なる音をプレーした場合、エンベロープをリトリガーすることはありません。
- **Off:** キーをプレーするたびにトリガーし直します。

 レガート・モードをオンにした場合、それに応じてキーボードの **Note Priority** を設定してください。(詳細は、セクション 2.4.1 : 10 ページを参照してください)

3.4.3 Velocity Response — ベロシティ・レスポンス

鍵盤のベロシティ・カーブを以下の3種類の中から選択し、設定します。

-  : キーボードは**線形 (linear)**の値を送信し、キーボードをゆっくりプレーすると低い値、速く弾くと高い値を送信します。
-  : キーボードは**対数値**を送信し、キーボードをゆっくりプレーした場合でも高い値を送信します。
-  : キーボードは**指数値**を送信し、キーボードを速くプレーした場合にのみ最高値を送信します。

 ベロシティは、MiniBrute の音、またはモジュレーションに影響を及ぼしません。このセッティングは、MiniBrute が USB /MIDI 出力に送るベロシティ・データに影響をあたえるだけです。

3.4.4 Aftertouch Response — アフタータッチ・レスポンス

アフタータッチのカーブを以下の3種類の中から選択し、設定します。

-  : キーボードは、**線形 (linear)**の値を送信し、キーボードへのプレッシャーが弱いと低い値を送信し、強いプレッシャーを与えると高い値を送信します。
-  : キーボードは、**対数 (logarithmic)**の値を送信し、キーボードへのプレッシャーが弱い時でも高い値に達します。
-  : キーボードは、**指数 (exponential)**の値を送信し、キーボードへのプレッシャーが強い時だけ、最も高い値に達します。

 MiniBrute フロントパネルでオンにするとアフタータッチは、フィルターのカットオフ・フリーケンシーや、ビブラートをコントロールすることができます、アフタータッチの値は、外部デバイスをコントロールするために MIDI を送信することができます。

4 ファームウェアのアップデート

4.1 ファームウェア・バージョンの確認

お使いの MiniBrute シンセサイザーのファームウェア・バージョンを表示します。



4.2 アップデートのチェック

このボタンをクリックすると Web ブラウザーを開き、使用可能な最新バージョンをダイレクトにご案内します。インターネット上のバージョンが以前に表示されていたものよりも新しい場合、MiniBrute Connection アプリケーションを閉じ、最新版をダウンロードし、解凍して、新しいバージョンをインストールしてください。



4.3 ファームウェアのアップデート



アプリケーションに含まれるバージョンにマニュアルでファームウェアをアップデートするには、このボタンをクリックしてください。

アップデートプロセスは、数秒で終わります。オクターブ LED によって、更新の状況を表示します。プロセスが完了するまで決してユニットを外さないでください！

完了したら、最初に MiniBrute SE を再起動し、“OK”をクリックしてください。



4.4 トラブルシューティング

4.4.1 接続を確立できません。

[OK]をクリックする前に再起動をしない場合、繋いでいるユニットが見えなくなるかもしれません。これは簡単に修復可能です。:

1. MiniBrute Connection ソフトウェアを閉じます。
2. 楽器を再起動します。
3. もう一度 MiniBrute Connection ソフトウェアを起動し、接続を確認してください。

4.4.2 アップデートが中断されました。

何かがファームウェアアップデート・プロセスの間(コンピューターのクラッシュ、USB ケーブルが抜けた等)にうまくいかなかった場合、インストゥルメントを元に戻す可能性があります。:

1. MiniBrute Connection ソフトウェアを閉じます。
2. オクターブダウン・ボタンを押しながら楽器を再起動してください。すべてのオクターブ LED が点灯しなければなりません。
3. MiniBrute Connection ソフトウェアを起動します。:ファームウェアの自動アップデートを求めるプロンプトが表示されます。しかしそれは動作しないのでキャンセルします。
4. **ファームウェア・アップデート・ビュー**に入り、**マニュアルアップデート**を行います。
5. インストゥルメントを再起動し、[OK]をクリックします。ご使用の MiniBrute は、復元され、アップデートしました。

5 シーケンス

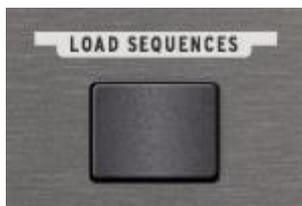
5.1 RESET ALL SEQUENCES — すべてのシーケンスをリセット



工場出荷時のすべてのシーケンスをリセットします。

警告:これはすべての内部シーケンスが消去されます。この操作を取り消すことはできません。

5.2 LOAD SEQUENCES — シーケンスのロード



Load sequences は、コンピューターから MiniBrute SE ヘシーケンス・ファイルを送ることができます。SAVE SEQUENCES によって保存すると、拡張子“.mbseq”ファイルを作成します。

その後、このファイルを MiniBrute SE に送信し、読み込むことができるようになります。これは内部のシーケンスに上書きするので、異なるバンクをロードする前に失いたくないシーケンスを保存するために使用することができます。

5.3 SAVE SEQUENCES — シーケンスの保存



いくつかのシーケンスを作成すると、後に使用するためにそれらを保存するか、他のソフトウェア・アプリケーションで使用できるように MIDI ファイルとしてコンピューターに送りたくなるかもしれません。

“SAVE SEQUENCES”ボタンをクリックすると、ファイルの保存を行う場所を指定するためのダイアログが開きます。ファイルの名前と場所を選択したら次のメニューが開きます。



ここでは .mbseq ファイルを作成することができます。それは、再び MiniBrute SE ロードすることができるか、または各シーケンスのために“.mid”ファイルを作成することも可能です。これらの.MID ファイルは、他のデバイス、またはプラグインで使用するために DAW アプリケーションにロードして使用することができる標準 MIDI ファイルです。

5.4 .MBSEQ ファイル

.mbseq ファイルは、テキストエディターを使用して編集することができるシンプルなテキストファイルです。ご自分のシーケンスを作成したり、それを編集することはとても簡単です。

データ・フォーマット:

```
1:60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60 60
2:60 60 60 48 60 60 60 72 60 60 60 48 60 60 72 48
3:48 60 48 60 48 60 63 51 48 60 48 60 63 51 67 55 48 60 48 60 48 60 63 51 48 60 48 60 63 51 67 61
4:60 60 60 60 60 60 57 59 60 60 60 59 60 60 60 60 60 62 59 60 62 64 67 69
5:48 60 72 70 48 67 60 55 48 x 65 72 48 62 72 62 51 58 63 72 51 70 63 58 51 x 62 72 51 72 62 64
6:48 x x 60 48 x 60 x 60 x x 72 60 x 60 x 48 x x 60 48 x 60 x 65 x x
7:60 72 48 60 60 x x 48 60 72 x 60 60 x x 73 48 72 60 61 60 x 72 84 72 48 79 82 48 77 81 70
8:48 48 x x 72 60 48 48 x x 48 x 72 x 82 x 48 48 x x 72 60 48 48 x x 48 x 72 x 75 x 48 48 x x 72 49 48
```

テキストファイルのデータはとてもシンプルです。行の最初のキャラクターはシーケンス番号です。

以下に続きます。

次にスペースで区切られた一連の MIDI ノートナンバーがあります。

行の末尾にリターンがあります。

休符には“x”をタイプします。

MiniBrute SE でオクターブが“0”に設定されている時の中央の C は、MIDI ノート:60です。

6 MIDI CC からパラメーターを変更する

MiniBrute SE は、MIDI コントロールチェンジを使用して簡単にエディターで見られるすべてのパラメーターへのアクセスを可能にします。パラメーターは、CC を使用して変更された場合、再起動後にその変更は失われます。内部メモリーへ変更を書き込むにはエディターを使用する必要があります。

各パラメーターの MIDI CC 値

パラメーター	MIDI CC	値
受信チャンネル	102	1 to 16, 17=All
送信チャンネル	103	1 to 16
Seq Retrigr	104	0 to 41 = Reset 42 to 83 = Legato 84 to 127 = None
Seq プレー・モード	105	0 to 63 = Hold 64 to 127 = Note On
Next Seq モード	106	0 to 41 = End 42 to 83 = Instant Reset 84 to 127 = Instant Continuous
Seq ステップサイズ	107	0 to 29 = $\frac{1}{4}$ 30 to 59 = $\frac{1}{8}$ 60 to 89 = $\frac{1}{16}$ 90 to 127 = $\frac{1}{32}$
シンク・ソース	108	0 to 41 = Auto 42 to 83 = Int 84 to 127 = Ext
Env レガート・モード	109	0 to 63 = Off 64 to 127 = On
LFO Retrigr モード	110	0 to 63 = Off 64 to 127 = On
ノートの優先順位	111	0 to 41 = Last 42 to 83 = Low 84 to 127 = High
ベロシティ・カーブ	112	0 to 41 = Lin 42 to 83 = Log 84 to 127 = Anti Log
ゲートの長さ	113	0 to 41 = Short 42 to 83 = Med 84 to 127 = Long
Seq ステップ/ゲート・モード	114	0 to 63 = Clk 64 to 127 = Gate/Tap
オーディオのスレッシュホールド	115	0 to 41 = Low 42 to 83 = Mid 84 to 127 = High
アフタータッチ・カーブ	116	0 to 41 = Exponential 42 to 82 = Logarithmic 83 to 127 = Linear
ローカル オン/オフ	122	0 = turn off ; 127 = turn on

7 LEGAL NOTES

7.1 NO LIABILITY FOR CONSEQUENTIAL DAMAGES

Neither ARTURIA nor anyone else involved in the creation, production, or delivery of this product shall be liable for any direct, indirect, consequential, or incidental damages arising out of the use of, or inability to use this product (including without limitation, damages for loss of business profits, business interruption, loss of business information and the like) even if ARTURIA was previously advised of the possibility of such damages. Some states do not allow limitations on the length of an implied warranty or the exclusion or limitation of incidental or consequential damages, so the above limitation or exclusions may not apply to you. This warranty gives you specific legal rights, and you may also have other rights which vary from state to state.

7.2 FCC INFORMATION (USA)

DO NOT MODIFY THE UNIT! This product, when installed as indicated in the instructions contained in this manual, meets FCC requirements. Modifications not expressly approved by ARTURIA may void your authority, granted by the FCC, to use the product.

IMPORTANT: When connecting this product to accessories and/or another product, use only high quality shielded cables. Cable (s) supplied with this product **MUST** be used. Follow all installation instructions. Failure to follow instructions could void your FCC authorization to use this product in the USA.

NOTE: This product has been tested and found to comply with the limit for a Class B Digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide a reasonable protection against harmful interference in a residential environment. This equipment generates, uses and radiates radio frequency energy and, if not installed and used according to the instructions found in the user's manual, may cause interferences harmful to the operation of other electronic devices. Compliance with FCC regulations does not guarantee that interferences will not occur in all the installations. If this product is found to be the source of interferences, which can be determined by turning the unit "OFF" and "ON", please try to eliminate the problem by using one of the following measures:

- Relocate either this product or the device that is affected by the interference
- Use power outlets that are on different branch (circuit breaker or fuse) circuits or install AC line filter(s).
- In the case of radio or TV interferences, relocate/ reorient the antenna. If the antenna lead-in is 300 ohm ribbon lead, change the lead-in to coaxial cable.
- If these corrective measures do not bring any satisfied results, please the local retailer authorized to distribute this type of product. If you cannot locate the appropriate retailer, please contact ARTURIA.
- The above statements apply ONLY to those products distributed in the USA.

7.3 CANADA

NOTICE: This class B digital apparatus meets all the requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulation.

AVIS: Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

7.4 EUROPE

